

平成27年2月3日  
とりまとめ担当課  
河川課 内線3618  
砂防課 内線3635

# 災害に強い県土を築く治水・土砂災害対策

近年多発している局地的集中豪雨(ゲリラ豪雨)や大型化する台風などによる災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、ハード・ソフト両面から治水対策や土砂災害対策を推進し、安全・安心な地域づくりを目指します。

また、平成26年7月に長野県南木曾町、8月には広島市などにおいて土砂災害が頻発していることから、ライブカメラの設置や災害図上訓練の実施等により安全管理体制の構築を図ります。

## 1. 被害を軽減するハード対策〈9,716,215千円〉

河道の拡幅や堤防の強化、調節池の整備などにより洪水に強い河川の整備を図ります。

また、土石流・がけ崩れ・地すべりによる土砂災害から、人命・財産を守る施設整備を進めます。

- (1) 治水対策 5,283,076千円
- ・新規の河川改修に着手(利根川、井野川ほか1箇所)
  - ・継続中の河川改修の推進(石田川ほか50箇所)
  - ・堤防補強(葦川ほか2箇所) など
- (2) 土砂災害対策 4,433,139千円
- ・土石流対策(寺ノ沢ほか76溪流)
  - ・がけ崩れ対策(はるな郷地区ほか38地区)
  - ・地すべり対策(戸室地区ほか6地区)
  - ・林野火災における対策(桐生市黒川) など



## 2. 被害を軽減するソフト対策〈291,719千円〉

近年多発する集中豪雨時に堰・水門・排水機場等管理施設を即時監視し、迅速な操作・運転を行うため、監視カメラ等を整備します。

- (1) 河川施設の監視体制の強化等 182,719千円
- ・監視カメラ、水位計等整備(12施設)
  - ・水位・雨量観測所の更新(13箇所) など



県民の日常的な防災意識の向上や災害発生時の迅速・確実な避難行動を促すため、災害図上訓練形式を用いた住民主体の防災マップ作りや、土砂災害警戒情報提供システムの機能強化などを進めます。

- (2) 土砂災害警戒避難支援 109,000千円
- ・災害図上訓練の実施(4市町村)
  - ・土砂災害警戒情報システムの機能強化 など

